

平成30年度

まちづくり懇談会実施結果報告書

(峰地区)

宇都宮市総合政策部広報広聴課

## 平成30年度 第5回 まちづくり懇談会《峰地区》実施結果報告書

この実施結果報告書は、まちづくり懇談会《峰地区》における発言の要旨をまとめたものです。

- 1 開催日時 平成30年9月25日（火）午後6時30分～午後8時
- 2 開催場所 峰小学校 体育館
- 3 参加者数 82人（市出席者除く）
- 4 市出席者 市長，総合政策部長，広報官，地域まちづくり担当副参事，東市民活動センター所長，LRT企画課協働広報室長，都市基盤保全センター所長，広報広聴課長

### 5 懇談内容

#### （1）地域代表あいさつ

峰地区まちづくり推進協議会 会長

#### （2）市長あいさつ

#### （3）地域代表意見

No.	テ ー マ	所 管 課
1	公共交通の充実強化に向けて	交通政策課 LRT企画課 市街地整備課
2	区画整理事業等について	市街地整備課 東部区画整理事業課

#### （4）自由討議

No.	要 望	所 管 課
1	産業通りの石井街道へのアクセス 及び その他の基幹道路の完成予定 及び 宇都宮大学南地域の区画整理事業の推進計画について	東部区画整理事業課
2	宇都宮大学正門前の市道943号線の一部拡幅について	技術監理課
3	LRT沿線の開発について	都市計画課 市街地整備課
4	LRT整備による影響，信号機の設置，都市計画道路の整備予定について	LRT整備課 技術監理課

5	L R Tについて	交通政策課 L R T企画課
6	防犯カメラについて	生活安心課
7	少子化対策について	子ども未来課 子ども家庭課
8	産業構造の問題について	産業政策課 男女共同参画課

(5) 来賓あいさつ

市議会議員 金崎 芙美子 氏

(6) 市長謝辞

## ■地域代表意見 1 (要旨)

<b>テーマ</b>	<b>公共交通の充実強化に向けて</b>
------------	----------------------

我が峰地区においても、高齢化が進んでいる。

市から、3か月に一度、人口構成に関する資料が送付されるが、その資料を見ると、70歳を境に、男性の人口が減り女性の割合が多くなる。

峰地区は、車を使って移動している人が多いせいか、公共交通への意識が薄いように感じる。70歳以上の7割の方が将来の交通手段等について不安を感じているようだ。今後ますます、交通弱者を対象とした対策が必要だと感じる。

峰地区においても、地域内交通の取り組みについても検討しはじめたが、駅東地区のコンパクトシティ創りと公共交通の強化充実の構想はどの程度進行しているのか伺う。

また、今後の峰地区の公共交通網をどのように考えているのか、更に、地域内交通以外の新たな交通手段として検討しているのか伺う。

<b>回答</b>	<b>所管課： 交通政策課， L R T企画課， 市街地整備課</b>
-----------	-------------------------------------

【市長】

今後人口が減っても生活に困らないように、市は現在、「ネットワーク型コンパクトシティ」という取組を進めている。この取組は、例えば郵便局や病院、行政サービスなど、市民の日常生活に必要な機能をコンパクトにまとめるもので、市内39地区に時間をかけて取り組んでいく予定である。

「駅東地区におけるコンパクトシティ創りについて」であるが、現在、立地適正化計画の策定を進めており、平成28年度には本市の中心部や鉄道駅周辺など10箇所に都市機能誘導区域を定めたところである。

駅東地区については、駅東口周辺やベルモール周辺などを都市機能誘導区域に定め、これらの地区に医療・福祉、子育て支援、商業などの施設を維持・誘導していくため、補助金などの誘導施策について企業等に周知を行っている。

また、平成30年度には、駅東口周辺やベルモール周辺をはじめバスやL R Tの公共交通沿線など利便性の高いエリアに、居住を維持・誘導していくための居住誘導区域を定める予定である。

「駅東地区における公共交通の強化充実」については、公共交通空白・不便地域の解消やネットワーク型コンパクトシティの形成を図るため、基幹公共交通であるL R Tの整備をはじめ、L R Tと重複するバス路線をL R Tと接続する支線バス等へ振り分けるなど、誰もが快適に移動できる階層性のある公共交通ネットワークの構築に向けた取組を進めているところである。

具体的には、J R 宇都宮駅東側のL R T整備については、本年5月に起工式を執り

行い、6月に工事に着手したところである。現在は、平成34年3月の開業に向けて、地域の皆様のご協力をいただきながら、用地取得に取り組むとともに、「JR宇都宮駅前の鬼怒通りの中央分離帯の撤去」や「清原工業団地内の道路工事」を実施しているところである。

また、LRTの車両については、本年7月に車両外観デザインを決定したところであり、今後、車両設計認可を申請するなど、車両製作に向けて、取り組んでいく予定である。

また、バス路線の再編については、平成29年7月に、JR宇都宮駅東側の「バス路線再編素案」を取りまとめ、地域の皆様にお示ししたところであり、再編後の具体的なバスの運行経路や運行本数、運行ダイヤ等について、バス事業者とともに検討を進めているところである。

次に、「今後の峰地区の公共交通網について」であるが、峰地区においては、LRTの停留場を1か所設置し、LRTの利用環境を整えるとともに、「JR宇都宮駅東口から国道123号線を通行し、ベルモールを経由してJR岡本駅を結ぶバス路線」や「現在整備中の産業通りを活用して、ベルモール方面から江曾島駅方面を結ぶバス路線」の新設を検討しているところであり、これまで以上に公共交通の充実に努めてまいりたい。

また、峰地区では、峰地区にふさわしい新たな交通手段として、地域の皆様が主体となって、新たな生活交通の確保に向けた検討に取り組んでいただいております。これまでの地域の皆様の熱心な取組に厚く御礼申し上げます。

この取組は、峰地区の公共交通の充実に大変重要であることから、本市としても、アンケート調査の実施や検討組織の設置などにおいて地域の取組を支援してきたところであり、引き続き、地域の皆様とともに生活交通確保に向けた検討に取り組んでまいりたい。

## ■地域代表意見2（要旨）

<b>テーマ</b>	<b>区画整理事業について</b>
------------	-------------------

宇都宮大学東南部の区画整理事業については、現在進行中であるが、宇都宮大学北側の地域についてはまだ手つかずなので、今後区画整理事業を進めていただくよう是非市長にお願いしたい。

また、区画整理事業に伴い新設される道路に植える街路樹について、柳田の地名にちなんだ「柳の木」を植えてほしい。

宇都宮大学や近辺の小学校など、災害時の避難場所に指定されている箇所については、実際に災害が起きた際、食糧の配備など適切にお願いしたい。

また、現在進められている宇大東南部の区画整理事業の進捗状況についてもお伺いしたい。

<b>回 答</b>	<b>所管課：市街地整備課，東部区画整理事業課</b>
------------	-----------------------------

【市長】

宇都宮大学北側の区画整理事業については、平成7年までは栃木県が事務を執行しており、当該地域の計画に係る経過は確認できず、現在においても計画はない状況である。

今後、地域の皆様で必要性を検討していただき、御要望を集約していただければ市としても検討していくことができるので、まずは、地域の皆様で御協議いただきたい。

また、宇大東南部の区画整理事業については、「第1地区」においては、平成11年度から整備を進め、平成30年度末の進捗率は約98%の見込みであり、平成32年度（2021年度）の事業完了を目指していく。

また、宇大東南部第2地区においては、平成19年度から平成33年度（2021年度）の完了を目標に、地域の皆様の協力をいただきながら事業推進に取り組み、権利者の新たな移転先となる仮換地について、約8割を指定したところであるが、当地区は住宅が密集した地区であり、移転先として使用できる空地が少ないことから、建物移転や道路、下水道等のインフラ整備等について、他の地区に比べ時間を要している状況であり、平成30年度末の進捗率は約32%の見込みとなっている。

引き続き、権利者や地域住民の皆様の更なる御理解と御協力をいただきながら早期完了を目指してまいります。

## ■自由討議（要旨）

<b>発 言 1</b>	<b>産業通りの石井街道へのアクセス 及び その他の基幹道路の完成予定 及び 宇都宮大学南地域の区画整理事業の推進計画について</b>
--------------	---

産業通りと石井街道までの開通時期についてお伺いしたい。

また、地域内でも関心が高い事業である、宇都宮大学東南部の区画整理事業の進捗状況についてもあわせて伺う。

<b>回 答</b>	<b>所管課：東部区画整理事業課</b>
------------	----------------------

【市長】

産業通りについては、全延長11kmのうち、宇都宮大学東南部地区内の約1.5kmが未開通区間となっていたが、平成29年度末に宇大東南部第1地区の約850kmの区間が開通した。

また、残りの未開通区間である宇大東南部第2地区の約700mについては、建物が密集したエリアであることから、建物移転に多くの時間を要しているところであるが、今年度末には約8割の道路用地が確保できる見込みである。

開通時期については、平成33年度(2021年度)末を目標としているが、地域の皆様の交通利便性の向上や防災性の強化を図るため、一日も早い開通が望ましいと考えることから、今後とも権利者や地域の皆様の御理解と御協力をいただきながら、より早期の開通に努めていく。

先ほどのご質問への回答と一部重複するが、宇大東南部第2地区においては、平成11年度から整備を進め、平成30年度末の進捗率は約98%の見込みであり、平成32年度(2020年度)の事業完了を目指していく。

また、宇大東南部第2地区においては、約32%の進捗率となっている。当地区は、住宅が密集した地区であり、他の地区に比べ時間を要している状況であるが、地域住民の皆様の更なる御理解と御協力をいただきながら進めていく。

## **発言 2 宇都宮大学正門前の市道943号線の一部拡幅について**

宇都宮大学正門前の国道123号線と交差する市道943号線は道路が狭いため、一部拡幅を要望する。

特に通勤通学時は歩行者、自転車、自動車が混在して危険度が高い道路である。

宇都宮大学峰キャンパスは、生徒約3,000人が一日に通学しているとお聞きした。朝の通勤通学時には約1,800人、教職員を含めると、約2,000人の方が朝の時間に峰キャンパスに向かって通勤通学していると推定される。

この道路は、峰1, 2, 3丁目の住民ほとんどが、通勤通学時に通る場所である。

宇大正門前の交差点から北に向かう道路全てとはいわないが、正門前約50メートルだけでもよいので、拡幅すれば多少混雑が解消されると想定される。

この道路の拡幅については、地域の多くの住民が望んでいることである。是非お願いしたい。

## **回答 所管課：技術監理課**

**【市長】**

御要望のあった道路については、拡幅した場合、車両の抜け道となり交通量が増加し、より危険性が高まること、また、住宅密集地域でもあるので、地権者の協力を得る必要があることなどにより、拡幅整備は難しいと考える。

また、拡幅整備以外の対策として、「歩行者注意」の路面標示をすることや、一方通行・車両進入禁止等の交通規制を行うことも考えられるが、規制については、地元の皆様の合意があれば、今後警察と協議していくこともできるので、まずは地域

の皆様で御協議いただきたい。

### 発言 3 LRT沿線の開発について

市街化調整区域に続々と家が建っているように感じる。

富山市に視察に行ったことがあるが、補助金を出してLRT沿線の開発をしているようだ。

本市も、LRT開通後、富山市同様に沿線開発を行っていく必要があるのではと考えるがいかがか。

### 回答 所管課：都市計画課，市街地整備課

【市長】

市が定めた「立地適正化計画」に基づき、商業施設や居住施設などの種別ごとに区域を設定し誘導している。

特に、交通の結節点であるLRT沿線などについては、補助金も出しながら都市機能の誘導に努めていく。

市街化調整区域については、地域拠点などにおいて、地域の皆様と一緒に地区計画を作りながら、良好な居住地の形成を進めていくことも考えている。

今後とも、LRT沿線地域については、都市機能を誘導することで沿線開発を進めていき、ネットワーク型コンパクトシティを推進し新しいまちづくりをしていきたいと考えている。

### 発言 4 LRT整備による影響，信号機の設置，都市計画道路の整備予定について

2月にベルモールで行われたLRTの説明会の中で、ベルモール付近から国道4号線との陸橋までが一車線になると聞いた。そのことにより、渋滞緩和策をどのように考えているのか。

LRTが開通することにより、旧柳田街道に迂回してくる車も増えると思うが、柳田街道北側に信号機がないので設置してほしい。

また、宇都宮大学工学部周辺から北側に都市計画道路を作る計画があったと思うが、まだ整備されていないのでいつ頃できるか教えていただきたい。

### 回答 所管課：LRT整備課，技術監理課

【市長】

JR宇都宮駅から国道4号までは2車線、4号からベルモールまでは、南側が1車線、北側が2車線となる予定である。これは交通量を予測して計画しているものであ



る。渋滞対策としては、各主要交差点の改良などを進めていく予定である。LRTの整備により、車の利用者は減ると予測している。

信号機の設置については、栃木県警に要望をお伝えしていく。

**【都市基盤保全センター所長】**

都市計画道路の整備計画については、所管部署に確認し、後日回答する。

**発言 5 LRTについて**

「駅東まちづくり21」という団体に活動している者である。

LRTがどんな場所を通るのかを市民の方に体感してもらうため、JR宇都宮駅からベルモールまでを、市民の方と一緒に実際に歩くという企画を考えている。

その際には、市の協力もいただきたいと考えている。

**回答 所管課：LRT企画課**

**【市長】**

御意見は関係部署に伝える。できることは是非協力し、共に頑張っていきたい。

公共交通全体を考えたときに、LRTは魚で例えると背骨になる。この背骨は、現在のところ、南北（JR宇都宮線）にしかない。背骨がしっかりしていないと、そこから続く小骨が育たない。

東西の背骨となるLRT整備により大量輸送、速達性を実現し、地域内交通やデマンドタクシー等の小骨で補っていくことが必要と考えている。

また、複数の交通機関で利用可能なICカードを導入する予定であり、70才以上の方などを対象とした料金の割引や、定額で一日乗り放題のシステムなども検討している。

これらのことにより、特に高齢者の方には積極的に外出していただき、将来的には健康寿命の延伸や医療費の抑制等につなげていきたい。

**発言 6 防犯カメラについて**

峰地区では、防犯灯の増設やLED化による照度を高める取組などを行っているが、負担も多く、また防犯対策として完全であるとはまだ言えない状況である。

地域としては、安全対策の一環として防犯カメラの設置が必要と考えているが、カメラの設置に係る予算計上を市にお願いしたい。

<b>回 答</b>	<b>所管課：生活安心課</b>
------------	------------------

【市長】

市としては、J R宇都宮駅の駅前広場や東西自由通路、城址公園などの公共施設に防犯カメラを設置している。

カメラの設置により、犯罪の抑止や犯人の検挙などに役立つことから、警察と協議しながら必要な箇所に設置している。

あわせて、地域に対しても、自治会が防犯カメラを設置する際、設置費用の3分の2や電気料の全額補助などを行っている。地域でも積極的に活用してほしい。

昨年度までに39団体に171台設置いただいております、今年度においてもすでに、16団体から55台の申請をいただいております。

地域においても、人の目が届きにくい場所などについては、設置について検討いただき、詳細については生活安心課に御相談いただきたい。

<b>発 言 7</b>	<b>少子化対策について</b>
--------------	------------------

市が高齢社会に向けた様々な対策を実施してくれていることは大変有り難い。

しかし、高齢化対策だけでは根本的な問題の解決にならないので、少子化対策が大変重要だと考えている。難しいことは重々承知しているが、待機児童の解消の取組などだけでなく、抜本的な対策をお願いしたい。

<b>回 答</b>	<b>所管課：子ども未来課，子ども家庭課</b>
------------	--------------------------

【市長】

少子化の対策は、これまで遅れていたと感じている。

未婚率の上昇や少子化については、これからしっかり対策していかなければならない。

宇都宮市の現状を申し上げますと、合計特殊出生率は1.50人であり、ひと家庭で2人の子どもがいないと現在の人口は維持できない数字である。東京などの大都市はもっと出生率が低い。

金銭的な理由で子どもを持ちたくても持てないという声も聞く。そういった問題が何もなければ、もっと多くの子どもを望んでいると思われるので、行政がサポートすることで少子化に歯止めがきくのではと考えている。

現在、本市では、妊産婦健診や医療費の助成のほか、子どもの医療費は中学3年生まで無料にするなど、子育てしやすいまちを目指して色々取り組んでいる。

これらの推移をみながら、必要に応じて手厚く対策していきたい。

## 発言8 産業構造の問題について

宇都宮市の、若い独身の男女の比率をみると、男性が多く女性が少ないと感じる。女性は、都会に行ってしまう、宇都宮市には独身男性ばかり残ってしまっていると思う。

このことは、宇都宮市の産業構造に問題があるのではと思う。たとえば、工業団地が多く、男性が働く場は多いが、女性が働く場が少ない。

また、最近では、大学医学部の入試で女性の合格率が操作されているなどという問題も起きている。企業の都合で、女性は使いにくいという風潮があるのではと感じる。

是非、宇都宮市には、若い女性が働ける産業構造に配慮したまちづくりを行ってほしいと思う。

## 回答 所管課：産業政策課，男女共同参画課

【市長】

宇都宮市における、20才～49才までの男女比については、女性の方が約1万人少ない状況である。女性は大都市に出て行って戻ってこないと思われる。

理由の1つとしては、宇都宮市内に製造業等が多く、事務職などの求人が少ないことがあげられると思う。

市としては、女性が様々な環境でも働きやすいよう率先して取組を行った企業に対し、積極的な姿勢を称える表彰制度を設けるなど、女性が働きやすい環境づくりに頑張っている企業を支援している。

そのほか、企業誘致や家賃補助等の取組も行っている。まだ始めたばかりの取組もあるが、男女比が均衡となるよう、また、人口減少に歯止めをかけるよう取り組んでまいりたい。